

会員の皆様へ

新規会員の勧誘・紹介ならびに論文の投稿について（お願い）

梅雨の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先の総会において新体制での今年度の事業計画が承認され、その計画にもとづき新年度の事業を進めているところですが、その一環として、会員の増数が命題となっております。既に、役員、評議員の方々には、新規会員の勧誘をお願いし、早速対応していただいた方もおられますが、一般会員の皆様にも、お知り合いの養豚関係者の方で、まだ日本養豚学会に入会いただけていない方がおられましたら、直接、ご勧誘いただくか、事務局までご紹介いただきたいと存じます。ご紹介いただいた場合には、事務局から入会のお誘いの文書をお届け致します。なお、平成 23 年 12 月現在の正会員および賛助会員の名簿は、本誌 48 巻 4 号に載せてありますのでご参照ください。

入会希望者がおられましたら、日本養豚学会公式ホームページから入会申込書をダウンロードしてご利用いただければ幸いです。

また、日本養豚学会では年 2 回の学会大会を開催し、毎回多くの口頭発表がありますが、そのうち論文として発表されているのは残念ながら一部に限られております。口頭発表された試験、研究以外にも、貴重なデータが未公表のまま温存されている場合が多々あると存じます。その試験、研究には多くの方々の支援、協力があつたはずですし、研究成果の発表は研究者個人の自由にはならない「義務」と考えていただき、是非、論文として投稿いただきますようお願い申し上げます。論文の種類は、原著、短報、研究ノート、資料と多岐にわたり、養豚に関するものであればどのようなものでも結構です。著者が希望する区分ごとの投稿規定に合わせて執筆していただき、編集担当までご送付下さい。

日本養豚学会の更なる活性化のため、以上 2 点につきまして、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

日本養豚学会会長
押 田 敏 雄